

## 生活援助従事者研修 研修カリキュラム ( 通学 ・ 通信 )

実施方法については、「高知県介護員養成研修事業の指定に係る取扱いについて」における別添「生活援助従事者研修における目標、評価の指針」を踏まえて実施すること。

科目	細目	時間数			指導目標、講義・演習・実習の実施方法等	
		計	講義・演習			実習
			通信	通学		
<b>1 職務の理解【2時間】※施設見学等の実習を活用すること。</b>						
	(1) 多様なサービスの理解	1	1	0	【講義】介護保険サービス(居宅)、介護保険外サービスの理解。	
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	1	0	1	【実習】介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージができる。	
	計	2	1	1		
<b>2 介護における尊厳の保持・自立支援【6時間 ※うち通信上限3時間】</b>						
	(1) 人権と尊厳を支える介護	3	1.5	1.5	0	【講義】虐待の定義、身体拘束、およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的なポイントを理解している。
	(2) 自立に向けた介護	3	1.5	1.5	0	【講義】自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。
	計	6	3	3	0	
<b>3 介護の基本【4時間 ※うち通信上限2.5時間】</b>						
	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1	0.5	0.5	0	【講義】介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について理解している。
	(2) 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	0	【講義】介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点についてポイントを理解している。
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1	0.5	0.5	0	【講義】生活支援の場では出会う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを理解している。
	(4) 介護職の安全	1	0.5	0.5	0	【講義】介護職におこりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点等を理解している。
	計	4	2	2	0	
<b>4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携【3時間 ※うち通信上限2時間】</b>						
	(1) 介護保険制度	1	0.5	0.5	0	【講義】生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙できる。ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙できる。
	(2) 医療との連携とリハビリテーション	1	0.5	0.5	0	【講義】制度のサービスについて。主に訪問看護等について理解できる。
	(3) 障害福祉制度およびその他制度	1	0.5	0.5	0	【講義】障害福祉制度の理念と保険料負担、本人負担について理解している。
	計	3	1.5	1.5	0	
<b>5 介護におけるコミュニケーション技術【6時間 ※うち通信上限3時間】</b>						
	(1) 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	0	【講義】共感、受容、傾聴的態度、気づきなど、基本的なコミュニケーション上のポイントや、家族の心理や葛藤の存在、介護における相談援助技術の重要性を理解できる。言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点を列挙できる。

科目	細目	時間数				指導目標、講義・演習・実習の実施方法等
		計	講義・演習		実習	
			通信	通学		
	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	0	【講義】チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに、記録等を作成する介護職一人ひとりの理解が必要であることを理解する。
	計	6	3	3	0	

## 6 老化と認知症の理解【9時間 ※うち通信上限5時間】

(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	1	0.5	0.5	0	【講義】加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴について列挙できる。
(2) 高齢者と健康	1.5	0.5	1	0	【講義】高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて列挙できる。
(3) 認知症を取り巻く状況	1.5	1	0.5	0	【講義】認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について概説できる。
(4) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	0	【講義】認知症の利用者の健康管理と廃用症候群予防の重要性と留意点について列挙できる。健康な高齢者の「物忘れ」と認知症による記憶障害の違いについて列挙できる。
(5) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	2	1	1	0	【講義】認知症の利用者の生活環境の意義やそのあり方について理解できる。認知症の中核症状と行動・心理症状（BPSD）等の基本的特性、およびそれに影響する要因を列挙できる。
(6) 家族への支援	1	0.5	0.5	0	【講義】家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて理解している。
計	9	4.5	4.5	0	

## 7 障害の理解【3時間 ※うち通信上限1時間】

(1) 障害の基礎的理解	1	0.5	0.5	0	【講義】障害の概念とICFについて概説できる。
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	0	【講義】各障害の内容・特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について理解できる。
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0	1	0	【講義】家族の心理、かかわり支援の理解、家族への支援、障害の理解・障害の受容支援、介護負担の軽減の理解ができる。
計	3	1	2	0	

## 8 ところとからだのしくみと生活支援技術【24時間 ※うち通信上限12.5時間】

### I 基本知識の学習

(1) 介護の基本的な考え方	2	1	1	0	【講義】要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則（方法、留意点、その根拠等）について概説でき、生活の中の介護予防、および介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を列挙できる。
(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解	2	1	1	0	【講義】人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて概説できる。
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	2	1	1	0	【講義】人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを概説できる。
小計	6	3	3	0	

科目	細目	時間数				指導目標、講義・演習・実習の実施方法等
		計	講義・演習		実習	
			通信	通学		
<b>II 生活支援技術の学習</b>		※移動・移乗に関連した実習を2時間実施すること。				
	(4) 生活と家事	3	1	2	0	【講義】【演習】 家事援助の機能の概要について理解できる。
	(5) 快適な居住環境整備と介護	2	1	1	0	【講義】【演習】 利用者の身体の状態に合わせた介護、環境整備についてポイントを理解できる。
	(6) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	1	0	2	【実習】移動・移乗の意味と関連する用具・機器、および移動・移乗に関するからだのしくみを理解し、立ち上がりや移動の際の声かけ、歩行等が不安定な者の移動支援・見守りを行うことができる。
	(7) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2	1	1	0	【講義】【演習】 食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法のポイントを理解し、食事に関するからだのしくみを理解できる。
	(8) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2	1	1	0	【講義】【演習】 睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみを理解できる。
	(9) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	2	1	1	0	【講義】ターミナルケアの考え方について理解できる。
	小計	14	6	6	2	
<b>III 生活支援技術演習</b>						
	(10) 介護過程の基礎的理解	4	2	2	0	【演習】介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。
	小計	4	2	2	0	
	計	24	11	11	2	
<b>9 振り返り【2時間】</b>		※施設見学等の実習を活用すること。				
	(1) 振り返り	1		1	0	【講義】研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行う。
	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1		1	0	【講義】就業後、継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。
	計	2		2	0	
	総時間	59	26	30	3	